磐城毎日
社長　大和田與兵衛
發行所　福島縣平市南町
株式會社　磐城毎日新聞社
編集兼印刷發行人　遠藤孝倫
電話（平）一二一〇番

土木建築設計請負
磐城土建工業株式會社
社長　強口唯七郎
平市小太郎町
電話五九・六二・一〇三四番

大藏省え最後的運動

今日小名濱港灣委員上京

小名濱港灣の明年度修築費豫算については町民が重大關心をもつてゐたが玆數日中に大藏省予算案が決定されると云う內報に接した町當局及び港灣對策委員會では直ちに對策委員會を開き上京委員をあげて陳情することに決定した、立花委員長他委員は六日平驛發列車で出發滯京中の水野町長と合流運輸省港灣局橫濱第二建設局大藏省等關係當局に對し最後的運動を開始することになつた

齊藤氏出馬か

木戸村長補欠戰

廿五日の投票日を迎えた双葉郡木戸村長補欠選は山田松本、矢內三候補の三ッ巴えの熱戰を續けていたが愈々最後の追こみ戰を前にして矢內候補（現双葉作報事務所長）が勤務先の事情から斷念の意志を表明すると思えば同町下町呉服商齋藤九十九氏の出馬説が傳えられ複雜な村長戰を呈してゐる、矢內氏の斷念は青年層から惜しまれてゐる、なお村議四名の補欠選は依然低調で定員にも未たない狀態にあり、此の分では投票日直前愈々立候補者なく定員で當選確實と見られてゐる

學校の整地作業え

自由勞務者大量參加

小名濱町第二中學校建築敷地整地に關する第一回委員會は五日開き共同墓地の使用變更にあたり在町自由勞働組合より失業救濟事業として取扱はれるやう申し入れもあり町側の條件を入れて失業救濟の枠に入ることになつた、町側の條件は

一、施行期日內に完成出來得るかどうか

二、作業用具を獨自で調達し得るかどうか

三、火藥取扱いの免許資格者の有無

で之等の條件を容れることが出來ると確答があり町直營のもとに自由勞務者によつて完成する事を決定した

市民税は好成績

納期まで三割五分

資産家屋税は70％

地方税法改正後の最初の市民税として其の納税成績を注目されていた平市の市民税の納税期限は五日であつたが當日は雨天にも拘らず窓口は長い行れつをつくる案外の好成績で税務課では精々三十％程度ののう税成績と見込んでいた處第一期の課税額一千百万円に對し納税額三百八十五万圓で三十五％の成績を示した、期限迄に未納者は六日から百円につき日歩四錢の延滯金を徴收され、更らに督促狀を發した場合は倍額の日歩八錢を徴收する規定となつている、尚八月三十一日のう税期限であつた固定資産税中の土地家屋税の第一期分は課税額約六百万円に對し五日までの納税額は四百二十万円で七十％の成績である

『高校昇格以后』

高等科が一年延長して新制中學になり、中學校が高等學校になり、高等學校が新制の大學になつた、敎育の內容はさほど向上したと思えぬのだが名稱だけは一段づつ上つたということは日本人の敎育的虛榮心を滿足させる事だけに効果があつたようである

今迄なら中學生だつた者が高校生という呼び名で呼ばれるということは一應大人になつたような滿足感を彼等に與えたに違いない、それがあらぬか磐高三年生が遊廓に登樓して心臟麻痺で死亡した事件があつた、十八才と云えば昔の中學四年生である、最も不幸にして死亡したから新聞種になつたので、其の外にも遊廓や淫賣屋に出入りする早熟青年がまだ何人か居ることであろう、昔の中學生にもかゝる不屆物が全々無かつた譯ではない、然し制服制帽で登樓したという勇敢なのは居なかつたようだ

勿論彼等をそうさせた原因はエロ雜誌肉体派文學セン情映畫ストリップショウ等樣々の影響があろう、然し中學生に高校生という呼び名——敢えて呼び名と云う——を與えた形式だけの敎育向上の影響も全々無しとは云えない

或る會社で實際にあつた話である、昇給の要求はあるが會社の經理が許さない、そこでせめて氣分だけでもと平社員の何人かを係長に係長を課長に昇格させた、そうして彼等の虛榮心を滿たし昇格運動の鋭鋒をさけようとした社長の考え方はなかなか良かつたが、今迄平社員だつた者が係長になつたらさつぱり働かない、やたらに女事務員や給仕を使いたがつて會社の能率が非常に低下したということである、この話と先の高校生の事件は一寸似てないこともない、敎育そのものの內容さえ向上すれば名稱は中學校でもよかつたのである、それを下手な學生の虛榮心をおだてるようなことをするから急に大人になつたような氣になつていろいろ事件を起し兼ねないのだ、內鄉では高校生の電線泥が捕まり、小名濱では同じく幼兒暴行犯人の一人が高校生だつた、內容はそのまゝ外觀だけ体裁の良いものにしたがるのは日本人の輕薄な考え方である、勿論善良な大部分の學生にはかゝわりの無い事である（天邪鬼）

難所八ッ坂近く改修

江名 豊間 えの交通に利便增大

平市と豊間―江名兩町をつなぐ重要道路である縣道平市飯野支所前の八ッ坂は急勾配で交通の難所とされ平市と豊間、江名兩町を往復する重量物を積載したトラック等は湯本、小名濱を迂回する現狀であり、この不便を解消するため、市當局では縣に對し八ッ坂切り下げの施行方を陳情中の處、工費五十万円で縣丁事として約二米切り下げる事に決定、平土木監督所の測量も終了した、工費五十万円中三分の一の約十七万円は平市の負擔となつたので市では十月の定例市議會に土木費の追加予算として提出し議會の承認を得て負擔金を支出する事となつたが切り下げ工事は平市の負擔金支出方決定次第着工する事となつたがこれによつて豊間江名兩町に通ず主要道路の難所が解消される譯けで地方民の得る處が多く期待されている

縣調整委員被害狀況調査

縣農業調整委員木村幸雄（石城）羽染秀夫（會津）佐藤善太（安達）渡邊俊政（石川）の四郡各代表は七日石城地方事務所管內の廿五年度産米及び雜穀の被がい狀況並に生産事情の現地調査をする

募金割當り

五丁目、四ッ波五日に完遂

平市共同募金の戸別割は五丁目が五千八百十円の割當てに對し六千円、四ッ波千百十円に對し千百九十円を何れも割當額を突破して五日完遂した

電話局懇親會

白鳥鑛泉で

平電話局運用課九十四名は秋のレクレイションとして來る八日、九日の二日間、二班に分れて磐崎村白鳥鑛山で大懇親會を開催する事になつた

……町村吏員……体育大會

石城町村吏員の秋季体育大會は來る十五日午前八時より小名濱中學校に於て開催される

作業場燒く

原因殘火不仕末

五日午後十一時ころ錦町中田字安良町農谷庄八（三五）さん方作業場から出火、同作業場九坪及びモーター、脱穀機、精米機などを全燒した、損害二十万円、原因は同作業場內でカワラセンベイを燒いた後の殘火の不始末からと見られている

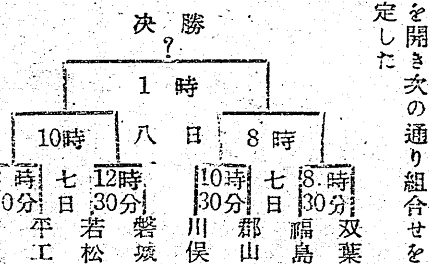
列車に投石

六日午前六時半ころ平驛午前三時五十五分下り青森行二一一列車が原ノ町―鹿島間井垂隧道にさしかゝつた際同列車前から四輛目窓にコブシ大の投石、窓ガラスを破壞した、乘客には被害なし、犯人嚴探中

縣下高校野球戰

人氣を呼んで明日開幕

野球ファン待望の縣下高校秋季野球大會は明七日午前八時より磐高球場で開會式を終つて八時三十分より試合が開始される、六日午後四時より市役所に主將會議を開き次の通り組合せを決定した



商狀、經濟欄

【鮮魚】六日現在　卸値（單位貫）

かつを	三五〇円
かながしら	二〇〇—一五〇円
かれひ	二五〇—一〇〇円
ほうぼう	三五〇円
ちぼ	二〇〇—一八〇円
のどぐろ	二五〇円
さんま	三〇〇円

市況―入荷少く人氣よし、さんまは鹽釜、小名濱より千貫水揚げ

【青果市況】丸サ市場

なす	六〇—四〇〇円
きうり	二〇—一〇〇円
ねぎ（小束）	一二—一八円
玉ねぎ	七〇—五五円
ごぼう	一三〇—一〇〇円
人參	二五〇円
大根	四五—三五円
菜類（一把）	三—二円
ほうれん草（一把）	一〇—七円
にら（一把）	三円
里いも	七〇—五〇円
さつまいも	五五—四〇円
しようが	一五〇—一〇〇円
やまといも	二〇〇円
抜豆	四五円
みようが	一五〇円
柿	一〇〇—六〇円
りんご（四貫入）	一〇〇〇円—一六〇〇円
ブドウ	三〇〇—二〇〇円

市況―昨日の雨で野菜の出廻り不足で値上り、またなす、きうりは端境期で値上り人氣は活潑

【株式市況】磐城證券　六日前場

場外取引に對する自肅を要望されたので熱を冷された形となり少し安い、對日こう和に對するアメリカの基本方針も示されたがあまりひびかない

鋼管	七四	呉羽化	四三
東洋紡	二一七	苫小牧	一一〇
鐘紡	一四八	十條紙	一〇七
日清紡	三〇八	本州紙	一三四
呉羽紡	一三五	日セメ	八〇
日東紡	一一六	磐城セ	一一〇
片倉	六三	小野田	一四〇
帝人	一一三	不動新	二四六
東洋レ	一四六	陽和不	一八二
新光レ	一三〇	開東不	二一七
山パル	一八〇	三越	二九一
東海上	五一七	日麥酒	二〇五
新郵船	一一九	朝麥酒	二二二
三井船	三三	キリン	二三五
日發	三四	寶酒造	二三一
三井山	四六	野田醬	三八〇
日石	八一	豊年油	一〇七
三井造	一一五	高壓	五〇
日立	三四	日産化	三五

小名浜魚市場水揚

五日夕水揚げ

平め	七〇〇貫
まこ	五〇〇〃
はも	三七五〃
むし	一五〇〃
たこ	一七五〃
小まこ	一五〇〃
さんま	五五〇〇〃

以上七千五百五十貫であつてサンマは何れも靜岡縣の廻船であるから愈々南下の徵ありちかく本港沖に於て操業さるゝものと見て居る

人事ニュース

馬目、柳岡水戸管理局平營業所職員は六日午後三時より栃木縣鹽釜町で開く北關東貨物打ち合せ會え

服部平商高校長は四、五、六日東京都で開いた全國商業高等學校長會に、また卒業生の就職斡旋のため各會社と打ち合せを行い十日歸校の予定

小倉平郵便局長は東京及び埼玉縣下各郵便局の事務視察に出張中のところ七日歸る豫定

職業案內

△官廳職員　平市內、年令二十三才―三十才迄、學歷舊制中學卒業以上、給與官廳給與による、條件徒歩通勤可能な方、但し二、三ケ月は臨時雇とする

△女店員　平市內、十八才―二十一才位、新制中卒以上の方、住込で月一千圓から二千圓位

△紡績工　二十四、五年度新制中卒者で勤勞意慾の旺盛な方を望む、給與は三千二百圓位、勤務先靜岡、愛知、岐ふの各縣

希望者は平職業安定所え

拾い讀み

今回結成された厚生勞働組合は發足以來日淺く組合運營資金等に惱んでいることを知つた組合員中からは組合資金えと恩給金の一部や稼動賃金の一部をさいて據金するもの續出、吾等の組合は吾等の手でとがつちりした團結力を示して組合幹部を感激さしている

矢吹醫院分院
成圭堂醫院
胃腸科
內科
小兒科
平市鎌田　電話1295

くすり
今日も元氣で
電四〇
平田
関內藥局

産科
婦人科
齋藤醫院
平市南町
電話九二一番

性病科
外科
內科
泌尿器科
急募!!
見習看護婦若干名
草野醫院
小名濱町本町通り
電小名九九番

豊松のコロッケ
平一丁目中央通

[illegible]ロマンスカーで
日光・鬼怒川・塩原へ
一泊二日の楽しい旅！
會費八百円
日程：第一回　十月十四日（土）十五日（日）
第二回　廿一日（土）廿二日（日）
第三回　廿八日（土）廿九日（日）
（毎回三十名限り）
百選候補地を隈なく見物出來る、絶好のチャンス（團体申込歡迎）
（委細申込所え）
申込所　交通公社平案內所　電二〇七
T・O廣告社　電三六五
常磐交通株式會社　電一〇四六

河川の復舊工事着手
落札總額六百万圓で

廿五年度に於ける洪水による平土木監督所管内の河川の災害中緊急を要する復舊工事はこの程豫算化されたので五日平土木監督所に於て左記河川の復舊工事請負の指名入札を行つたが、工事請負金額及請負業者は次の如く決定した、總工費額に六百十五万八千円である

△好間川＝好間村中好間地内（二百四十万円）磐城土建工業株式會社
△好間川＝平市北目町地内（百三十五万円）右同
△好間川＝澤渡村下市萱地内（三十二万八千円）ユタカ建設工業株式會社
△仁井田川＝大野村下柳生地内（五十四万七千円）西山組
△堀の内川（砂防工事）＝澤渡村下市萱地内（四十七万八千円）遠藤工業所
△兒玉川＝赤井村高萩地内（四十二万八千円）荻野組
△仁井田川＝大野村玉山地内（二十二万円）幅田組
△藤原川＝磐崎村（藤原六十万五千円）渡邊組

早場米の超過
供出等協議

縣販連石城出張所では四日農業會館に郡下各關係者と廿五年度早揚米の超過供出その他に關し協議會を開いた、本年度の割當量は五千二俵であるが明年からは一万俵に割當量を擴大することなどを協議した

小名川災害工事
百二十万円で着工

小名濱町小名川は都市計畫の中に含む都市水利事業の建前から過般建設省奥田技官の來町に依つて四十万円の枠は其の儘小名川の掘鑿に使用せよ、來年度は更に繼續事業としての枠を作る可しと言明した事は一場の夢ではないかと疑いを持つたが遂に其の言明が實現し小名川災がい復舊工事として認められ西側護岸工事を百二十万円にて施行する枠が歴然と現はれたので目下其の手續中である、國庫六十万円、縣費三十万円、地元三十万円となつてゐる

有事に酸素呼吸器
平市消防署に備付る

平市ではかねて懸案中だつたガス災がい及び有毒火災時などに於ける人名救助用サンソ吸入器をこのほど購入他市町村に先きがけて市消防署に備え付けた、同器は從來の防毒マスクと異りサンソタンク付で重量約十キロ、ガス内で四十分耐えることが出來るもので東北でも最初の備え付けと言われ其の活用が期待されている

市區劃整理委員會

平特別都市計畫事業土地區劃整理第九回委員會は四日午前十時より市會議室に於て開催、土地計畫の換地については地主の希望を入れる事に決定した

神谷婦人會で講演

八日午前九時より平六小において神谷婦人會主催の講演會を行う、講師は鈴木光四郎磐女教官で「新民法について」

射擊大會え
郡下七名出場

八日仙台市で行ふクレー射擊大會に郡下より七名が出場する、平市獵友會關係者は渡邊昇、白土喜伯（平市）大木友美（内郷町）の三氏で植田町より三名、勿來町一名が參加する

料理講習會
高久婦人會で

農家の台所改善と日常料理の合現化をはかるためから七日午前九時より高久村婦人會主催の料理講習會は同村小學校で開く講師は吉田サダ郡農協組職員である

腕前あげる勞務者
直營事業に受入れ歡迎

小名濱町自由勞働組合が失業救濟事業と狙つて、小川掘鑿事業に割込み目下小名川の掘鑿事業に從事して居るが、他の勞組とは絶對に趣を異にし本工事の施行距離は土砂の浚渫を諏訪橋の上下三百二十米であるが、實際は工事面に餘剩を生ずると云ふ働きぶりを示し四百米が完成するのでないかと見られ、馬上土木課長から賞詞を與えられその作業ぶりも万点である旨、委員會に報告されたので學校敷地の場合も是れが原因となつて町直營の許に勞組が工事に當る事となつた

〃〃〃〃税務署選手出發

縣下十二税務署對抗排球、野球兩大會は郡山市日東紡グランドで七日排球、八日野球で平税務署兩チームは六日午前八時半出發した

讀賣旗爭奪戰

第九回讀賣き争奪軟式野球縣選手權大會は七、八日原の町々營球場で開く、郡下よりオール小名濱、勿來クラブの二強豪が出場七日はオール小名濱對原町クラブ富久山日東紡對勿來クラブの間で熱戰が展開される

鐵道運動會
二校で盛會豫想

七日、八日の二日間午前八時三十分から平鐵道倶樂部の家族慰安大運動會は市第二小學校々庭に開催する、流石は鐵道員と家族の親睦競技會だけあつて驛名札合せや列車組成等鐵道に因ん

動行注目される
石城勞組連合役員會

石城勞組連合會反共組合では八日正午から湯本町役場で役員會を開き就業枠擴大と今後の運動方針について檢討するが平自由勞組の分裂問題から最近石城地方自由勞組各支部にも反共運動が活潑になつて來ているだけにその成行が注目されている、なほこの組合は勿來、湯本、小名濱、川部、内郷、赤井南部等各組合員で組織され組合員は千五百名にのぼつている

小名浜通信

サンマの漁季を前にして漁業が振はない、これでは期待と正比例だとこぼすも初まらない、水試が共盛丸に依つて漁場調査に乘り出した、水温高く姿が見えない、これではサンマ漁況も悲觀説が濃厚となつて來る、それが眞なるかどうかは別として氣の早い漁業家はサンマ棒受を底曳きに轉向した方が上分別だと既に改道に着手して居るのを見るとそれがよいのか惡いのか疑問中の疑問だ

×

小名濱金融業界の大元締七十七銀行は借家住いであるが店舗は正に銀行らしい建物で其の堂々たる建築である事は其の貫録を示すものだ、七十七に次いで常陽銀行が支店の昇格と共に店舗新築の説は久しい、現ざいの店舗を他の場所と交換して建築すると傳え、更に中明神町八番地に借地して建築すると言い、三三五五、風聞は流布さるゝが未だに實現しないのは堅忍自重の性格を高野支店長がほのめかして居る、近い將來に飛躍的發表を期待される、潜龍の雪を呼ぶ決して遠くはないだらう

×

店舗で誤多ついた東邦銀行支店であつたが、安島支店長の腕のさえを見せて難問題中の難問題をこの程解決して愈々古家の移轉に着手し道路に面した地域があき茲に新築さるゝ事となつた樣だ果してどんな店舗が出來るかは町民の注目を放つ一つである

×

金融界は店舗の建築で競爭じみて居る、東邦が着手すると小名濱信用組合でも古家取り壞しに着手した、東邦が早いか信組が早いかは見物である、何れにしても金融業者だけにやると決まれば簡單で積極的に建築も進行する幾日ならずして東邦と信組の營業所が町の目抜きの處にデビユーするだらうと期待をかけられて居る

×

町會議員任期中の掉尾の旅行を決行する事になつた、それは港灣協會の總會を來る十二日から三日間名古屋市に於て開く事となつて居るが毎年あるので希望者はこれまでも出席して居たが、本年は該會の出席は最後とあるので誰も彼もと議員總出の意氣を示して居る深く期せ、旅行豫定を作つて道草は一切喰はない事を徒らに大名行列じみた放慢旅行は祖國再建途上では大禁物である、港灣を生かすための出席である以上、其の線を脱却しない樣各議員の熟考が漸く肝要となつた事を老婆心から苦言を呈上する

附屬建物指名入札

小名濱第一中學校の附屬けん築物、小使室、湯沸場、渡り廊下の増築を行う事になつた、其の建築請おいをどうするかに就いて經濟委員會を開き協議の結果指命入さつせしむる事に決定

旅行シーズン迎え
遊覽客に特殊乘車劵

國有鐵道ではあきの旅行シーズンを迎え遊覽客誘致のため次の遊覽地往復及回遊客に對し特殊乘車劵を發賣する事となつた、運賃は二割引とし發賣期間は十月一日より十一月卅日までえきの出札口及交通公社で發賣する、但し平營業所管内では平えきより乘車する旅客に限られている

志賀高原、日光、鹽原溪谷、那須高原、箱根、松島、吾妻磐梯

學校新築近く
競爭入札

別項小名濱町立第二中學校新築案に對しけん築委員會では其の請おい方法を協議した結果、町在住者並に平市郡内のけん築請おい者を以て公入札せしむ事に決定而して公入札の立前から最低札に落札者と定むるはけん造物の不良を想像さるゝ恐れもあるから止札より一わり以上降る場合は無効とすると云う意見も出たが、結局は最低入札を落札者となす事に決定したのでちかく入札を行う

公衆電話の不正利用者増加

現在平市内に驛前、城山、十五丁目の三ケ處に公衆電話があるがその使用料金の納入狀態は極めて惡い、料金が貨幣から紙幣式に變つたのは廿三年五月で當初は料金の納入狀態は良好であつたが二年後の現ざいは紙幣式の交換孃の判斷が出來ないのを利用して不正使用者が續出している、三ケ所の内城山が最も惡く九月の如きは一日約五十回の使用者の中半數は未拂使用者になつている、公衆電話でも市外通話植田、小名濱、富岡迄出來るので自宅に電話があつても公衆電話を不正利用している者もあるらしく當局では紙幣式の爲判別が出來ないので利用者の良心に待つ外はないと語つている

文藝欄
「秋の雨」

しめやかに秋の雨降る
ヴエルレーヌの哀しきここ
ろ我も知りにし

×

しめやかに心にしむる雨の
音一夜つゞきぬ
わびしくもあるか

×

あと三日すれば給料の入る
よと　妻のこころに
かゝりしはその事

×

何時の日か
秋雨の降るなかに立ちて
君を待ちにし事ありしかな

×

丹澤の塔の峰なる山小屋に
一夜響きし
雨音なつかし

×

疲れたる心になほも雨だれ
の音の響きて
時過ぎ行きぬ

×

遠き日の憶ひ出の名を書き
たりし　便り來りぬ
秋の雨の日

×

わびしきは雨の故らし
こころまで
しみ入る如くしとしと降
る

（安里侍巢）

出生

一日平市杉平岩田つ子さん四女加代子さん△十二日平市南町齊藤宇吉衛門氏二男純さん

JOCP ローカル郡山HQ

7日

前7時15分　あぜみち通信（10）＝甘薯の收獲と貯藏＝縣立農事試驗場技師熊田一男
前10時10分　學校通信＝全學年の時間＝郡山市赤木小學校
後6時30分　ラジオ紙芝居（26）R・K・C

（五日十一時半現在）

今晩は東よりの風、曇時々晴間のある天氣、處によりしぐれもありませう、七日は北の風朝の中は曇つている處もありますが次第に良くなり、八日は始め良い天氣で次第に曇つて來て天氣は下り坂となり海上は風波が次第におさまり七日はおだやかでせう

メガホン

平市の大久保彦左で通つている町の顔役市内大町の水野氷室主人水野隆介さんは冬分の仕事として近く薪、木炭商を始める事となつた、自ら「飲み代嫁ぎだヨ」と言つて居るだけに水野さんは左手の方も相當なものである、夏分氷で冷して冬分に薪、木炭で暖め氣候の節を計ると云う寸法であるが同時にそれで儲けてゴ自分も腹の中から暖まると云うコンタンらしい

製粉と製めん
季節の味!!!
杉ノ澤　永島製麵所
工場　平市杉野澤　電1094番　出張所　平市田町丸通裏通り

サンキュー
佐々木商店
平市鍛冶町
電五〇三番

8日より14日まで
（次週上映）
美空ひばり、川田晴久のコンビで笑はせたり、泣かせたり!
ハワイに於いて現地ロケを行ない、本場ものゝフラダンスを踊るひばりさん
東京キッド
キャスト　美空ひばり、川田晴久　エノケン、アチャコ
平館

藤越の特選会
10月5日より
10月15日まで
營業時間　朝8時半より　夕5時半まで
新秋にふさわしい優良品の大特價
入口に特賣場を設けました
（その二）

ウールオーバー地（毎日先着2名様）	4000円ヲ	2000
男子オーバー	4500同	3500
純紡純毛ネル	180同	120
ウール服地	360同	300
子供セーター	250同	200
靴下（短）最低	75同	60
同　最高	140同	105
同　ソックレット	75同	50
明治クリムキヤラメル	20同	15
いわし罐詰	35同	30
サボボイル	50円ヲ	38
岡田バター	170同	155
化粧石鹸	16より	
洗剤	15同	13.50
機下駄鼻緒付	65同	55
ノート（三冊組合せ）	50同	40
漫画絵本	3割引	
文化人形	180同	150
買物籠	280同	230
電氣スタンド	350同	270
絹シルクシエード	70同	50

大衆食堂
汽車の御待合せ
御買物の御歸りに
御氣軽に御利用下さい
そろそろ熱カンの季節です。左黨の方は御座敷風食堂で一杯いかが!!
さかえ
平驛前東角

本場自慢
牛豚肉
愈々肉食の季節が参りました!!
第一綠屋　電五三九
第二綠屋　電七九四